

ウィズコロナ時代を生き抜くために

座談会出席者

(順不同、役職は当時)

多田 計介氏
全旅連会長

大木 正治氏
全旅連副会長
全旅連調査研究会会長

鈴木 治彦氏
全旅連青年部部長

田中 美岐氏
全旅連女性経営者の会会長
会社 日本森田洋



多田氏

全旅連のウィズコロナ調査研究会について、座長の鈴木さんから改めて説明を。

大木 新型コロナの収束まで長期化が予想される中、組合員の皆さまに有益な情報を収集...

田中 アンケートは3月24日の視察総会で示されたが、組合員へのアンケートは、今更なる...

大木 昨年10月にGOTOの特典があり、若い状況が続いた中で、米びつが多少多まったという旅行が全国的に多...

多田 観望者の提言は、「無症状感染者を特定できないために全体的な行動を自粛させ、いっまでも観光や催事の縮小を強めている。だから抗原検査をして安心安全に旅行ができるようにし、感染拡大防止と経済の両立を推進すべき」という考えだ。

大木 「70%以上90%未満」は9.4%、「90%以上100%未満」は2.7%。前年同期を上回る「100%以上」は0.9%と、1%に満たなかった。同様のアンケートは緊急事態宣言発出直後の1月8、18日も行ったが、1〜3月の売上げ予測は50%未満が7割近く、今回のアンケートはほぼ変わらな...

大木 今年4〜6月の売上げ予測は、「50%未満」が41.0%、「50%以上100%未満」が27.3%、「100%以上」が18.0%、「予測不能」が13.0%。1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。

大木 「70%以上90%未満」は9.4%、「90%以上100%未満」は2.7%。前年同期を上回る「100%以上」は0.9%と、1%に満たなかった。同様のアンケートは緊急事態宣言発出直後の1月8、18日も行ったが、1〜3月の売上げ予測は50%未満が7割近く、今回のアンケートはほぼ変わらな...

大木 今年4〜6月の売上げ予測は、「50%未満」が41.0%、「50%以上100%未満」が27.3%、「100%以上」が18.0%、「予測不能」が13.0%。1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。



田中氏

田中 感染者数が少ない。岩手県の宿の副会長が、流行当初から東京に出掛けられなかったという話を伺った。地元で止められずにいた。

大木 愛媛県では、公の立場にいる人は、県の許可を得ないと東京できない。私も全旅連の会合を昨年は回向が欠席した。30年来の全旅連活動の中で初めて...

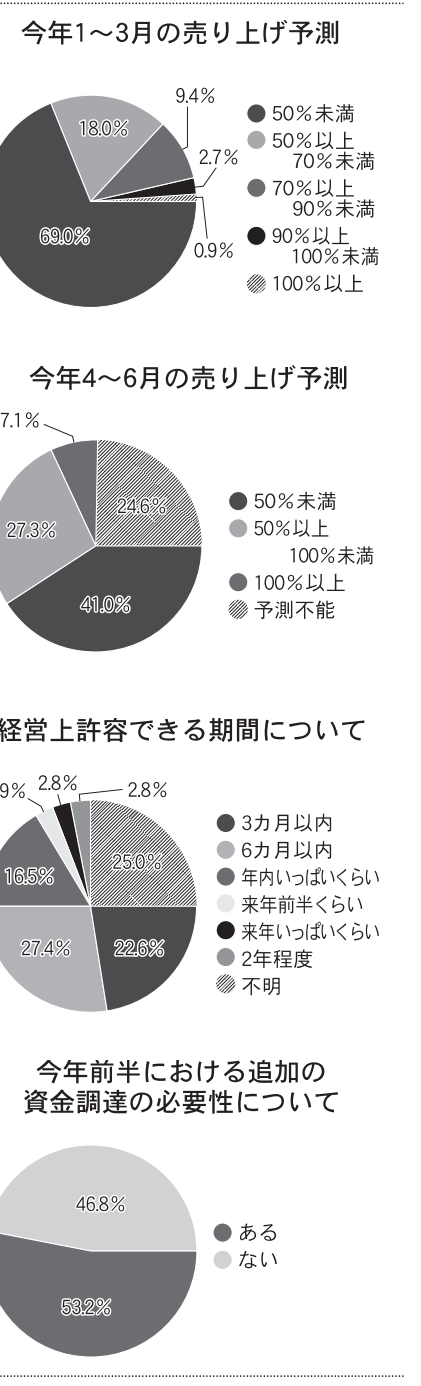
鈴木 情報のキャッチが大事。いかに質の良い情報を、タインリクよくキャッチするかが、「情報がない」と言っているが、それが情報がないのではなく、情報を取りに行き努力していないのだ。

田中 高齢になって、こえを突いている人も、体がこが怖い人が多くなってきている。難しいことだが、終わらせないこと、まはそれ、終わり、その一念だ。

大木 感染防止と、旅行の個人化に対応するための施設の改修が必要になるが、お金がかかることなので、やれるところとやれないところがある。行政の手厚い補助が必要だ。スタッフのモチベーション維持も大事だ。雇用調整助成金を活用して、従業員を休ませていく宿も多いだろう。だが、「同じお金でもらえるのなら、休んでいた方がいいや」と、従業員に思われていないだろうか。そんな考え方が広がるのが怖い。衛生面の対策をしっかりと行い、お客さまに「これは大丈夫」と印象付ける。スタッフの意識、そして一本、筋が通った経営者の意識が必要だ。

大木 このコロナ禍でも、お客さまに来ていただける仕組みを生み出していかねばならない。それに伴って、お客さまに安心して泊まっていたら、安全対策を徹底すること。いっ、安全対策を徹底すること。いっ、安全対策を徹底すること。いっ、安全対策を徹底すること。

全旅連の組合員緊急アンケートから



今年1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。

今年4〜6月の売上げ予測は、「50%未満」が41.0%、「50%以上100%未満」が27.3%、「100%以上」が18.0%、「予測不能」が13.0%。1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。

経営上許容できる期間については、「3カ月以内」が29.0%、「6カ月以内」が28.0%、「年内いっぱいくらい」が25.0%、「来年前半くらい」が16.8%、「来年内いっぱいくらい」が27.4%、「2年程度」が22.8%、「不明」が2.8%。

今年前半における追加の資金調達の必要性は、「ある」が68.2%、「ない」が46.8%。1月のアンケートでは、資金調達の必要性があるとした施設が27.1%、「予測不能」が24.6%。TTO事業の停止や緊急事態宣言による自粛の影響が大きい。資金調達の必要性も増している。全旅連では見ている。

資金調達の必要性がある施設のうち、「確実に実行可能」と回答した施設は6.8%にとどまる。ほかに「現在、相談中」が20.1%、「まだ着手していないが不明」が19.8%、「実行可能は100%以上の大規模」が19.7%、「10%未満の小規模」が3.6%と、規模により差が見られる。

調査は全国の組合員施設代表に2月24日から3月13日までウェブで実施。期限までに1017軒が回答した。

全旅連の調査の結果も掲載している。

全旅連ウィズコロナ調査研究会は、全国の組合員施設・ホテルに新型コロナウィルスの影響に関するアンケート調査を数回にわたり実施している。直近の調査では、1〜3月の売上げ予測は、「50%未満」が69.0%、「50%以上100%未満」が24.6%、「100%以上」が4.1%、「予測不能」が2.7%。

1〜3月の売上げ 50%未満が約7割

400日間「闘いの記録」 全旅連ウィズコロナ調査研究会報告書

全旅連ウィズコロナ調査研究会は、これまでの活動を記録した報告書「新型コロナウィルス感染症の400日間の闘い」を毎月発行するとともに、全旅連の公式ホームページ「宿ネット」にも掲載し、誰もが閲覧できるようにしている。

報告書には、昨年1月からの3月までの新型コロナウィルスに関する主な出来事、国などの支援制度、全旅連が行った支援活動の時系列を掲載。研究会がこれまで行った組合員施設・ホテルへのアンケート調査の結果も掲載している。